

福島県矢祭町 内川地区 旧内川小学校再利用プロジェクト

東洋大学 箕輪ゼミ

2020年2月8日

発表者

新井瞭 原田翔太



矢祭町の概要



- 福島県の最南端に位置する
- 2001年に市町村合併しない「矢祭町宣言」で全国的に名を馳せた町
- 特産品にはこんにゃく、あゆ、ゆずなどが存在
- 町の約8割が森林に囲まれている



旧内川小学校と内川地区



←2016年に閉校した旧内川小学校は3階建ての木造校舎

第1回活動調査

- 旧内川小学校の校舎の清掃
- 農業体験



第2回活動調査

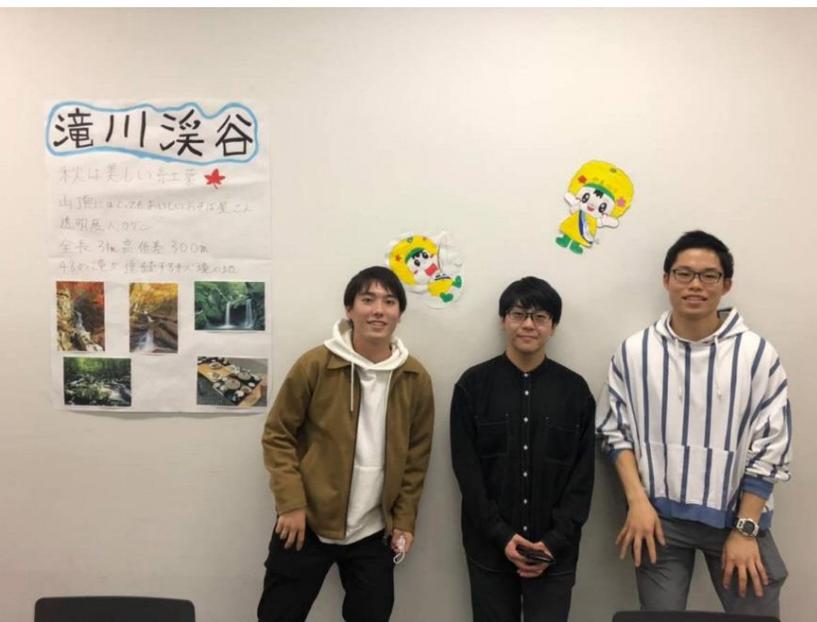
- 内川地区住民への聞き取り調査
- 矢祭町山公園クリーン＆ハイキング
- 農業体験



台風19号による被害

- 高地原橋の崩壊
→ 橋崩壊によって高地原地区の住民が孤立
- 浸水被害
- 地域の用水路詰まり





学園祭（白山祭）

- ゆずシャーベットの販売・矢祭町物品販売
- ゼミ活動報告、矢祭町・内川地区紹介



第3回活動調査

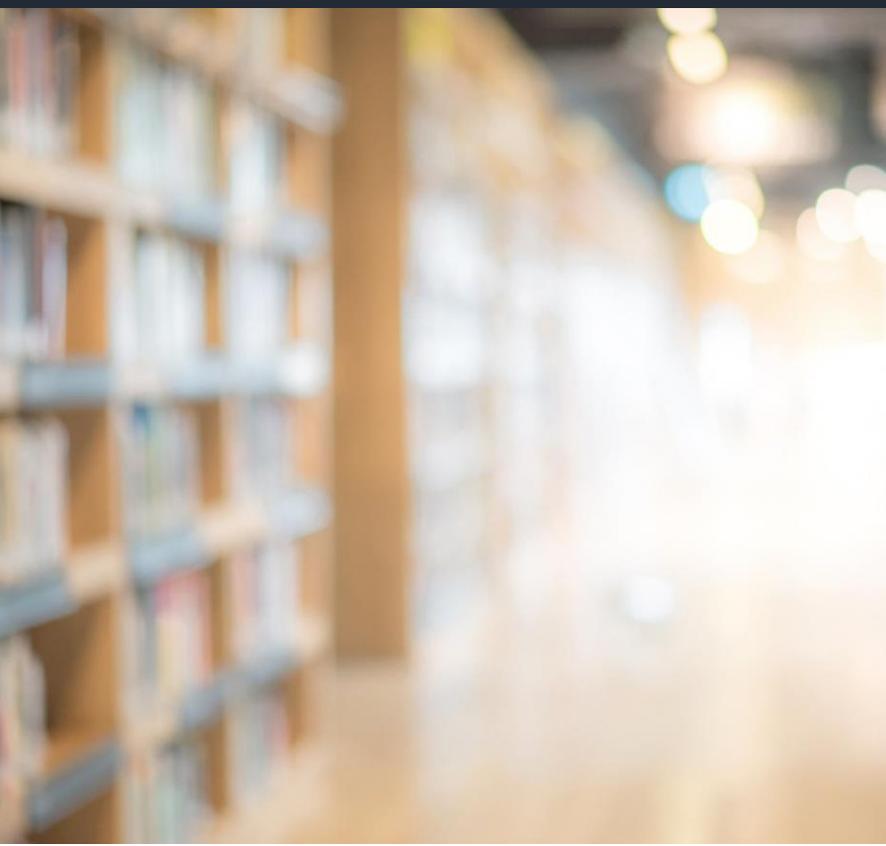
- こんにやく(在来種)、そばつくり
- こんにやく芋(在来種)掘り
- 聞き取り調査の分析・報告、旧内川小学校再利用案のプレゼンテーションと内川地区の皆さんとの討議
- 用水路・春日神社の清掃
- フォトリケーションマップ作成ための実施散策



廃校利活用事例

体験型交流施設

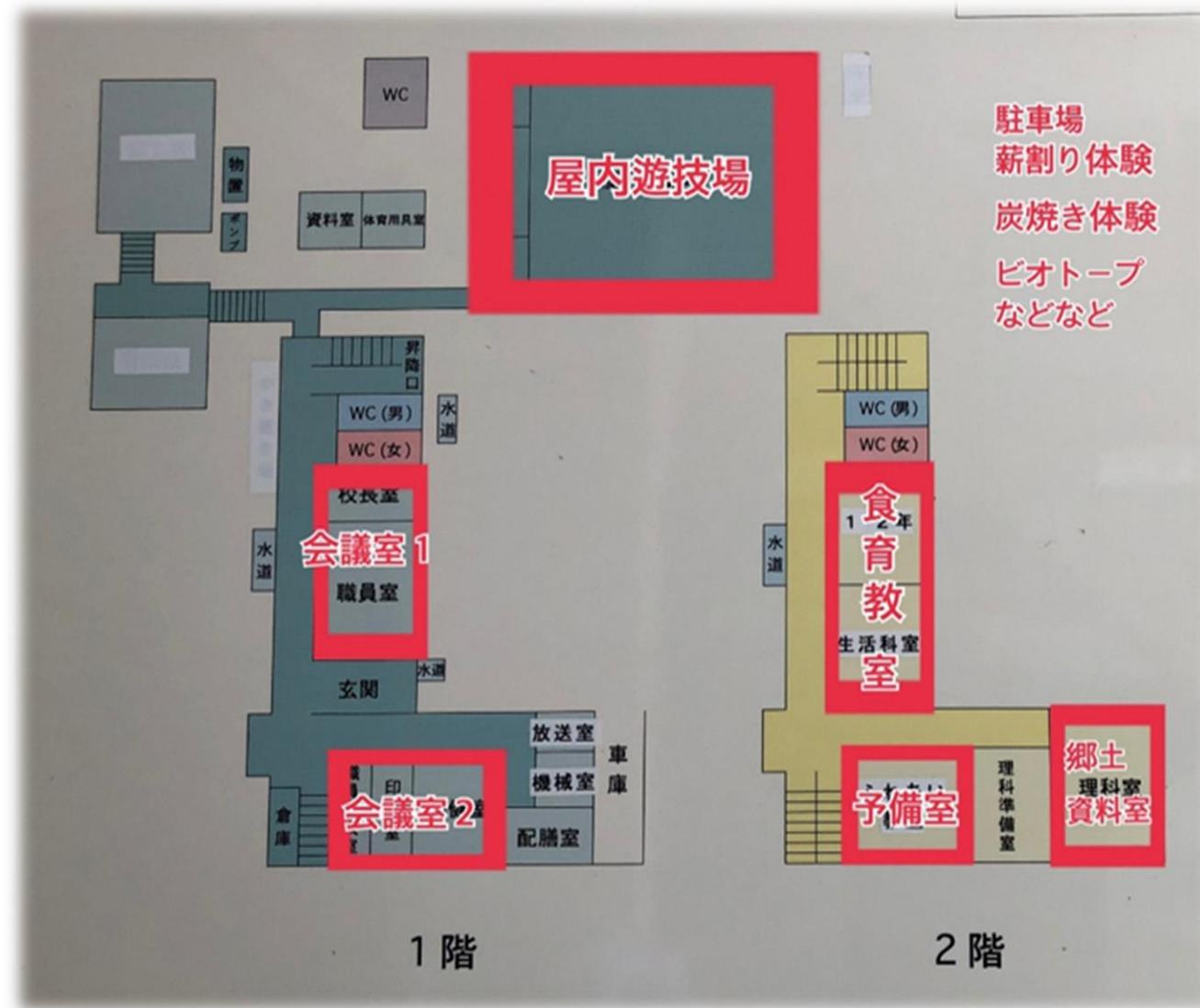
「学びの里 内川」



- テーマ
「学び」と「遊び」が可能な体験型交流施設にする
→地域の人たちの思い出や学校への気持ちを大切にできる施設にすることができる。
- ターゲット
地域の小学生
→自然教育を目的とする地域外の小中学生も

学びの里 内川

- ふれあい館（校舎）
→地域交流室、食育教室、
郷土資料室、学習室など。
- わくわく館（体育館）
→残っている道具を使用。
可能であれば土日も開放



学びの里 内川

- にこにこ広場（校庭）
 - 薪割り・炭焼き体験のできる場所にする。
 - ビオトープの設置
 - …植物を五感で観察することのできる場所。
 - *体験を重ねるごとにビオトープが発展していく。



※ビオトープの参考例

今後の展望

今までの活動では利活用提案や地域交流などが主立ったものであったが、次年度では新たな試みを予定している。

モノの創設

予定される計画例

- ・「(仮)矢祭もったいないビオトープール」プロジェクト
旧内川小学校のプールのビオトープ化への試み。
地域と子どもと大学生が協働した楽しみつつ作れそう
+面白そうな場づくり。
地元の憩いの場、子どもの学び・遊びの場としての活用。

「PLAN」 メインの活動から 「DO」 メインへの移行